



金沢市ものづくり戦略

2015

概要版

金沢市

平成27年3月

1 金沢市ものづくり戦略2015 策定の目的

平成26年度で計画期間が満了する『金沢市ものづくり戦略』に続くものとして、地域経済の担い手である中小企業を中心としたものづくり産業を振興するため、新たな将来像とその実現に向けた行動計画を策定するものであり、この戦略を推進することにより、本市の都市像である『世界の交流拠点都市金沢』を実現し、地域経済の活性化を図ります。

2 対象とする産業

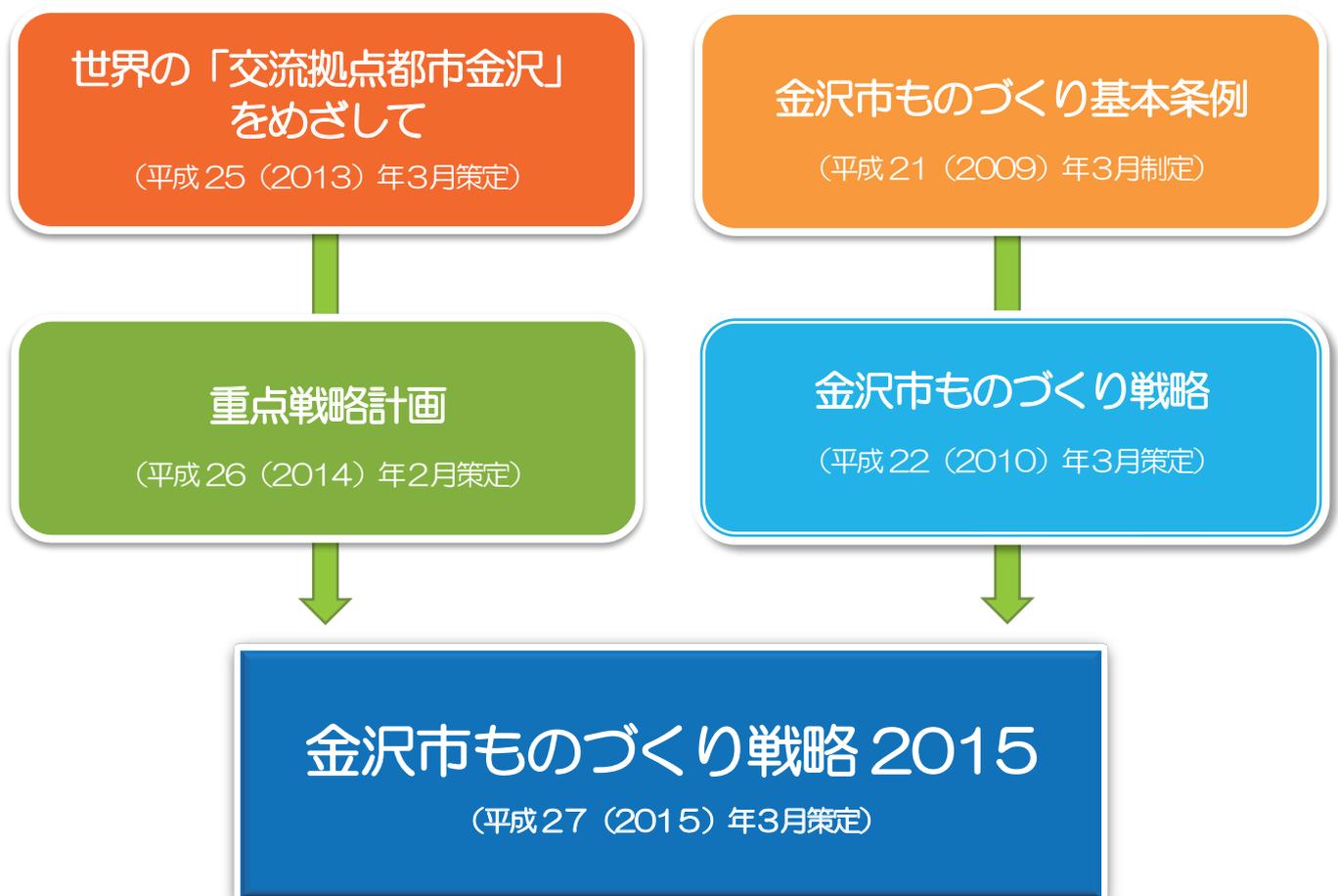
製造業、情報通信・映像・デザイン産業とします。

3 計画期間

平成27（2015）年度から平成36（2024）年度までの10年間とします。

なお、社会経済情勢の変化等に対応するため、策定後5年を目途に見直しを実施します。

4 本市の上位計画と金沢市ものづくり戦略2015の位置付け



5 本市ものづくり産業の将来像

本市のものづくり産業は、工芸品等の製造技術を背景として栄えた手工業をベースに、繊維産業や繊維機械産業へと展開し、機械・金属産業や印刷産業など、さまざまな産業へと広がる「内発的発展」を遂げてきました。その中でニッチトップ企業をはじめとする「独創性」を持つ企業が次々と現れる一方、特定の産業に過度に依存することのない「多様性」をもつ産業構造が形成されてきました。今後のものづくり産業の将来を見据えた場合、その歴史であり特徴でもある「独創性」や「多様性」を活かしていかなければならず、これは『金沢市ものづくり基本条例』並びに『金沢市ものづくり戦略』でも掲げてきた目指す姿（将来像）でした。一方、今後10年間の社会経済情勢の変化を考えると、人口減少に伴う国内市場の縮小や少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少、さらにはグローバル化の進展とICT関連を中心とした技術革新などさまざまな課題に対応しなければならないことから、北陸新幹線金沢開業や金沢港の整備促進を契機に、まちの拠点性向上を図るとともに、国内外から人・モノ・情報の集積・交流を図り、新たな視点・発想で次世代を切り開く新製品・新技術・新産業を創造して、需要の新規開拓と地域経済の活性化を図っていかねばなりません。

そこで、『金沢市ものづくり戦略』の趣旨を継承しつつ、グローバル化が進む中で『世界の交流拠点都市金沢』を実現し、地域経済の活性化を図るため、以下のように将来像を設定します。

<将来像>

独創性と多様性に富んだものづくり産業の振興による創造産業都市・金沢の実現
～人・モノ・情報の集積・交流による地域経済の活性化を目指して～

6 ものづくり戦略2015の基本方針と施策の方向性

<基本方針1>

次代を担う産業人材の確保・育成

将来に向け、ものづくり人材を確保するため、小中学生を対象とした体験教室や工場見学を通じて、ものづくりの重要性や地元企業の魅力について認識を高めていきます。また、技能承継や後継者育成に向けた企業の取り組みを支援するとともに、まちの魅力や拠点性の向上による人材の集積を図ります。

施策の方向性1 担い手の発掘・育成・集積

産学官が連携してものづくり産業の担い手の発掘・育成を図るとともに、まちの魅力や拠点性を活かして人材の集積を図っていきます。

施策の方向性2 小中学生からものづくりに触れる機会の確保

将来に向け、ものづくり人材を確保するため、教育機関や家庭、地域と連携して、小中学生がものづくりの現場に触れる機会を確保し、地元企業の優れた部分をアピールしながら雇用に繋げていきます。

施策の方向性3 技能承継及び後継者養成に向けた支援強化

業界・企業における技能承継や後継者養成に向けた取り組みを支援していきます。また、中小企業基盤整備機構などの支援機関とも連携して、企業のニーズに合った研修機会の拡大に取り組んでいきます。

<基本方針2>

事業基盤の強化と企業立地の促進

経営基盤の強化を図るため、国・県や中小企業基盤整備機構などの支援機関、金融機関、大学等と連携して専門家による相談体制を充実させるとともに、金沢市工業団地連絡協議会の活動を支援し、加盟企業の連携強化と工業団地の活性化を図ります。また、製造業の大規模地震にかかるリスク回避など国内拠点の再編も視野に入れた企業誘致と市内外からの企業集積を図ることで、ものづくり産業の発展と高度化を促していきます。加えて、金沢港の整備促進にあわせて港湾活用型企業の誘致に取り組みます。

施策の方向性1 中小企業の経営力強化

円滑な事業経営を図るため、金沢市異業種研修会館等を拠点に、国・県や支援機関、金融機関、大学等と連携して専門家による相談体制を充実し、企業の経営基盤の強化を図っていきます。

施策の方向性2 多様な連携の促進と工業団地の活性化

産学・異業種及び企業間連携を促進するとともに、10 団地、約 520 社で構成する金沢市工業団地連絡協議会の組織力を活かして、若手経営者や後継者の連携を促し、工業団地の活性化を図っていきます。

施策の方向性3 企業立地の促進

金沢テクノパークには高度技術産業や試験研究開発機関など付加価値の高い都市型産業を誘致するとともに、金沢森本インター工業団地やいなほ・かたつ工業団地で企業集積を図り、本市ものづくり産業の高度化及び規模拡大を図っていきます。

<基本方針3>

新産業の創出と起業支援の強化

地域経済の活性化のためには、既存産業の振興だけでなく、社会経済情勢の変化を見越して新たな事業、産業の創出に目を向けていかなければなりません。ICT 関連分野を中心に技術革新が飛躍的に進歩している中、新たなビジネスモデルの構築による新事業・新産業の誕生を期して活動拠点の機能強化と起業支援の充実を図ります。また、eAT 金沢等を通じて形成されたトップクリエイターとの人脈を活かして、クリエイターの誘致及び地場産業と先端技術との連携・融合を図っていきます。

施策の方向性1 ICTを活用した新産業の創出

IT ビジネスプラザ武蔵を拠点に、ICT を活用した起業支援と新たなビジネスモデルの構築による新産業の創出を図るとともに、県外からクリエイターを誘致し、IT 関連産業の集積・振興を図ります。

施策の方向性2 ICT分野等における地場産業と先端技術の融合

トップクリエイターとの人脈を活かして、地場産業と先端技術の融合を図り、起業家やクリエイターのビジネスチャンスの拡大を図ります。

施策の方向性3 創造的活動拠点の機能強化

まちなかの特色ある創造的活動拠点の機能強化を図りながら、新たな価値を生み出す場の整備に取り組んでいきます。

<基本方針4>

新製品・新技術の開発と成長分野への展開支援

新製品・新技術の開発に取り組むことは、各企業の技術力を磨くだけでなく、産業全体の厚みを増すことに繋がることから、意欲ある企業の取り組みを積極的に支援していきます。また、技術力の底上げを図るため、新たに小規模企業者に対する支援の拡充を図るとともに、地域素材を活用した新商品開発等についても推進していきます。さらには、集積している高等教育機関と連携した環境、福祉、医療等の成長分野における研究開発を促進し、地域経済のけん引役を担う企業の創出を図ります。

施策の方向性1 **新製品・新技術開発の促進**

金沢発新製品・新技術の開発を促進するため、意欲ある企業の取り組みを積極的に支援していきます。また、技術力の底上げを図るため、小規模企業者に対する支援を強化します。

施策の方向性2 **環境、福祉、医療等の成長分野への展開支援**

再生可能エネルギー関連を中心とした環境分野、福祉、医療そしてシルバー市場など、今後成長が見込まれる分野での支援を強化し、ものづくり産業の高度化を図ります。

施策の方向性3 **豊富な食材や企業・大学の技術を活かした魅力ある商品の開発**

豊富な食材やブランドイメージの活用を図り、農商工連携や産学連携を促進し、安全でデザイン性や機能性に優れた魅力ある商品の開発を推進します。

<基本方針5>

販路開拓と海外展開支援

人口減少に伴う国内市場の縮小は避けて通れない状況となっており、中国・東南アジアを中心とした成長著しい海外市場や増加する訪日外国人も視野に入れてグローバル需要の獲得を図っていかねばなりません。企業の販路開拓については、金沢発新製品のブランド化を推進するとともに、地元企業の有する高い技術力を発信するため、国内外で開催される見本市等への出展を促進していきます。また、海外・外国人向けの情報発信の強化を目指した企業の取り組みを積極的に支援していきます。

施策の方向性1 **ブランド力を活かした販路拡大**

市内企業が開発した優れた新製品・新技術を本市のブランドとして認定し、国内外に発信することにより、企業の高い技術力に裏打ちされた独創性に富んだ本市産業のPRと企業の成長を促します。

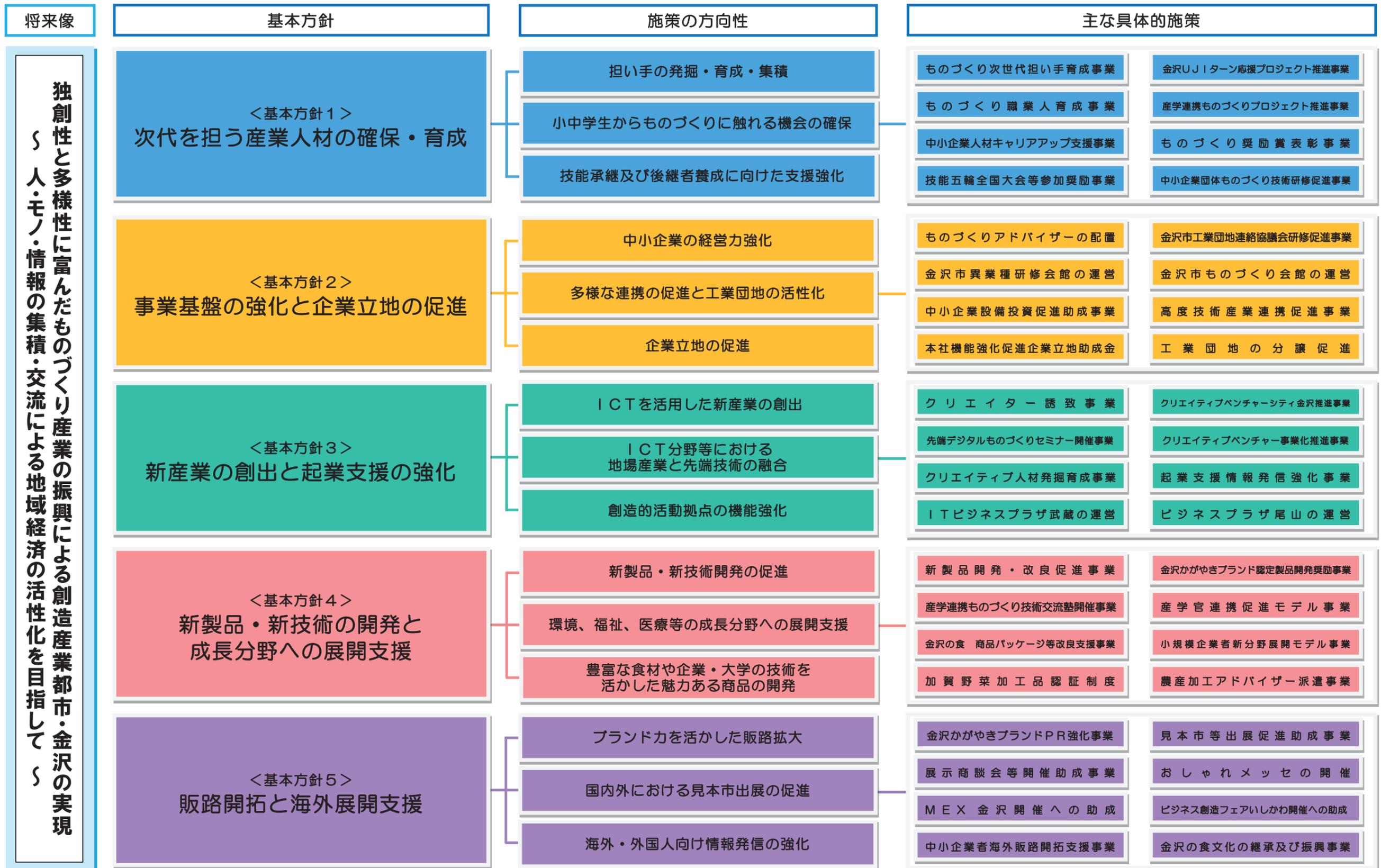
施策の方向性2 **国内外における見本市出展の促進**

地元企業の高い技術力の発信のため、国内外への見本市出展を促進するとともに、北陸新幹線金沢開業など交通インフラ等の拡充を契機とした販路拡大の取り組みを積極的に支援していきます。

施策の方向性3 **海外・外国人向け情報発信の強化**

JETRO等と連携して企業の海外展開を支援するとともに、情報発信ツールの整備を促進し、海外との取引拡大及びインバウンド対策の強化を図っていきます。また、金沢の食及び食文化の発信を強化していきます。

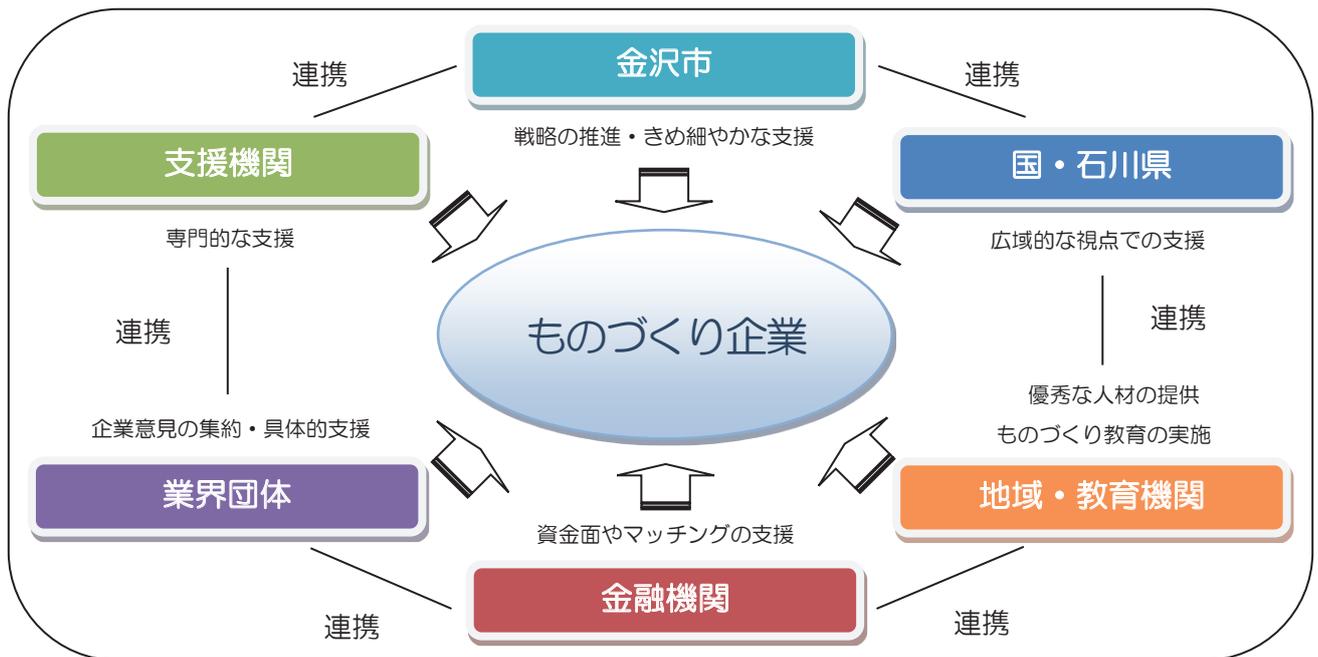
7 金沢市ものづくり戦略2015 体系図



8 施策の推進体制

将来像の実現に向けては、本市のみならず、企業・関係機関が、それぞれの責務を果たしながら相互に連携していくことが必要です。今後とも企業を取り巻く環境やニーズの的確な把握に努めるとともに、地域経済を支える企業に対し、国・県や中小企業基盤整備機構などの支援機関、金融機関等とも連携して支援していきます。また、高等教育機関の集積を活かし、産学連携による新製品開発を促進するほか、学校や地域と連携し、ものづくりの大切さについて理解と関心を深めるとともに、新たな価値の創造に挑戦する機運を醸成していきます。

【推進体制イメージ図】



9 進行管理

市と業界団体、支援機関、大学等からなる「金沢市ものづくり戦略推進会議」を設置し、進捗状況の確認と施策の見直し等を検討していきます。

10 金沢市ものづくりサポート拠点

金沢市異業種研修会館	〒920-0377 金沢市打木町東 1400 番地 TEL 076-240-1934 FAX 076-240-1903
金沢市ものづくり会館	〒920-0226 金沢市栗崎町4丁目 80 番地 1 TEL 076-255-1518 FAX 076-255-1519
ITビジネスプラザ武蔵	〒920-0855 金沢市武蔵町 14 番 31 号 TEL 076-224-6340 FAX 076-224-8788

お問い合わせ

金沢市経済局ものづくり産業支援課

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番地1号
TEL 076-220-2205 FAX 076-260-7191
E-mail monozukuri@city.kanazawa.lg.jp